



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月29日

上場会社名 第一実業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8059 URL http://www.djk.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山片 康司
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 岡田 秀樹 (TEL) (03) 6370-8697
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	37,711	27.1	989	91.6	1,122	69.4	750	63.9
28年3月期第1四半期	29,661	△7.5	516	—	662	158.1	457	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △25百万円(—%) 28年3月期第1四半期 707百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
29年3月期第1四半期	13	98	13	92
28年3月期第1四半期	8	56	8	47

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	110,595	35,746	32.2
28年3月期	94,767	36,006	37.9

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 35,660百万円 28年3月期 35,921百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	円	円	円	円
28年3月期	—	8.00	—	9.00	17.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	9.00	—	8.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	65,000	5.2	2,200	28.3	2,400	27.6	1,500	41.9	27.92
通期	127,000	2.3	4,200	8.1	4,500	2.8	2,800	6.1	52.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

29年3月期1Q	55,432,000株	28年3月期	55,432,000株
29年3月期1Q	1,654,072株	28年3月期	1,779,005株
29年3月期1Q	53,691,675株	28年3月期1Q	53,477,151株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や金融政策の効果により企業業績や雇用・所得環境に改善傾向が見られるなど緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、原油価格の下落による資源国経済への悪影響や一部の国・地域における地政学的リスクの顕在化、英国のEU離脱問題、中国経済の先行き懸念など、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況の中で、海外向け石油プラントやエチレンプラント用設備等の大口案件の売上計上があり、またITおよびデジタル関連機器製造会社向けの電子部品実装機等の販売が好調に推移したため、当第1四半期連結累計期間の売上高は前第1四半期連結累計期間と比べて8,049百万円増加の37,711百万円（前年同期比27.1%増）となりました。また、営業利益は472百万円増加の989百万円（前年同期比91.6%増）、経常利益は459百万円増加の1,122百万円（前年同期比69.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は292百万円増加の750百万円（前年同期比63.9%増）となりました。

報告セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

プラント・エネルギー事業

大手エンジニアリング会社経由の海外向け石油プラントやエチレンプラント用設備、また化学会社向け樹脂製造プラント用設備等の既受注大口案件の売上計上があったため、売上高は4,067百万円増加の11,840百万円（前年同期比52.3%増）、セグメント利益（営業利益）は44百万円増加の28百万円となりました。

産業機械事業

自動車関連業界向けの自動組立ライン、自動加工機、塗装ライン等の大口案件の売上が減少し、また家電・自動車部品製造の射出成形機および周辺機器等の需要も減少したため、売上高は755百万円減少の8,884百万円（前年同期比7.8%減）、セグメント利益（営業利益）は157百万円減少の115百万円（前年同期比57.7%減）となりました。

エレクトロニクス事業

ITおよびデジタル関連機器製造会社向けの電子部品実装機等の販売が好調に推移し、売上高は3,549百万円増加の13,900百万円（前年同期比34.3%増）、セグメント利益（営業利益）は324百万円増加の596百万円（前年同期比119.4%増）となりました。

ファーマ事業

錠剤外観検査装置やパッケージング用機器・装置等の販売が好調で、売上高は968百万円増加の2,405百万円（前年同期比67.4%増）、セグメント利益（営業利益）は69百万円増加の128百万円（前年同期比115.6%増）となりました。

航空事業

航空機地上支援機材および空港施設関連機器等の売上が増加したため、売上高は423百万円増加の660百万円（前年同期比178.7%増）、セグメント利益（営業利益）は85百万円増加の36百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、15,827百万円増加の110,595百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少があったものの、プラント関連の前渡金の増加や売上高の増加に伴う受取手形及び売掛金の増加があったことによるものであります。

負債合計は、16,087百万円増加の74,849百万円となりました。これは主に、借入金の減少があったものの、仕入高の増加に伴う支払手形及び買掛金の増加やプラント関連の前受金の増加があったことによるものであります。

純資産合計は、260百万円減少の35,746百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益750百万円の計上があったものの、円高による為替換算調整勘定の減少や配当金の支払いがあったことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、新規連結に伴う増加額315百万円を合わせて、前連結会計年度末に比べ、4,212百万円減少し、14,741百万円（前年同期比511百万円減）となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前受金の増加や仕入債務の増加があったものの、前渡金の増加や売上債権の増加があったことなどにより、1,870百万円の減少（前年同期比2,851百万円減）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得支出や無形固定資産の取得支出があったことなどにより、524百万円の減少（前年同期比164百万円減）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済や配当金の支払いがあったことなどにより1,774百万円の減少（前年同期比1,219百万円減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、平成28年5月11日に公表した内容に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動はありません。

なお、当第1四半期連結会計期間より、重要性が増したDJK GLOBAL MEXICO, S. A. DE C. V.を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,137	14,919
受取手形及び売掛金	36,295	42,658
電子記録債権	1,285	1,896
商品及び製品	7,136	8,850
仕掛品	813	1,247
原材料及び貯蔵品	608	673
前渡金	10,523	20,798
繰延税金資産	566	584
その他	2,824	3,678
貸倒引当金	△314	△336
流動資産合計	78,876	94,970
固定資産		
有形固定資産	2,975	3,075
無形固定資産	2,923	2,877
投資その他の資産		
投資有価証券	8,055	7,714
退職給付に係る資産	868	864
その他	1,696	1,717
貸倒引当金	△627	△625
投資その他の資産合計	9,992	9,671
固定資産合計	15,891	15,624
資産合計	94,767	110,595
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,751	37,775
短期借入金	8,825	7,597
未払法人税等	909	261
前受金	13,507	23,883
引当金	1,221	876
その他	1,288	1,401
流動負債合計	55,503	71,796
固定負債		
長期借入金	1,850	1,734
繰延税金負債	651	563
引当金	16	14
退職給付に係る負債	301	307
その他	438	432
固定負債合計	3,257	3,052
負債合計	58,761	74,849

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,105	5,105
資本剰余金	3,786	3,786
利益剰余金	25,935	26,397
自己株式	△767	△713
株主資本合計	34,059	34,575
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,311	1,055
繰延ヘッジ損益	4	15
為替換算調整勘定	740	197
退職給付に係る調整累計額	△193	△182
その他の包括利益累計額合計	1,861	1,085
新株予約権	76	77
非支配株主持分	8	8
純資産合計	36,006	35,746
負債純資産合計	94,767	110,595

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	29,661	37,711
売上原価	25,467	33,123
売上総利益	4,194	4,587
販売費及び一般管理費	3,677	3,598
営業利益	516	989
営業外収益		
受取利息	7	5
受取配当金	68	71
為替差益	—	16
仕入割引	49	63
持分法による投資利益	11	15
貸倒引当金戻入額	62	—
その他	7	5
営業外収益合計	206	177
営業外費用		
支払利息	22	17
為替差損	12	—
支払手数料	15	18
その他	8	8
営業外費用合計	60	44
経常利益	662	1,122
特別利益		
固定資産売却益	3	1
その他	—	4
特別利益合計	3	5
特別損失		
固定資産売却損	1	0
固定資産除却損	11	0
投資有価証券評価損	—	59
その他	—	0
特別損失合計	13	60
税金等調整前四半期純利益	652	1,067
法人税、住民税及び事業税	97	341
法人税等調整額	96	△24
法人税等合計	194	316
四半期純利益	458	750
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	457	750

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	458	750
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	220	△255
繰延ヘッジ損益	75	10
為替換算調整勘定	△59	△529
退職給付に係る調整額	11	11
持分法適用会社に対する持分相当額	2	△13
その他の包括利益合計	249	△776
四半期包括利益	707	△25
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	706	△26
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	652	1,067
減価償却費	250	199
株式報酬費用	3	8
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△61	26
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△67	12
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3	△2
引当金の増減額(△は減少)	△420	△340
受取利息及び受取配当金	△75	△76
支払利息	22	17
投資有価証券評価損益(△は益)	—	59
持分法による投資損益(△は益)	△11	△15
固定資産除売却損益(△は益)	10	△1
売上債権の増減額(△は増加)	3,015	△6,970
前渡金の増減額(△は増加)	△340	△10,169
たな卸資産の増減額(△は増加)	△483	△2,351
その他の流動資産の増減額(△は増加)	1,048	△879
仕入債務の増減額(△は減少)	△869	8,132
前受金の増減額(△は減少)	△935	10,062
その他の流動負債の増減額(△は減少)	86	347
その他	4	△105
小計	1,832	△977
利息及び配当金の受取額	81	91
利息の支払額	△24	△20
法人税等の支払額	△909	△963
営業活動によるキャッシュ・フロー	980	△1,870
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△1	△9
有形固定資産の取得による支出	△28	△207
有形固定資産の売却による収入	75	1
無形固定資産の取得による支出	△478	△159
投資有価証券の取得による支出	△5	△114
貸付けによる支出	△2	△5
貸付金の回収による収入	76	2
会員権の売却による収入	—	16
その他	3	△48
投資活動によるキャッシュ・フロー	△360	△524

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△41	△1,207
長期借入金の返済による支出	△115	△115
自己株式の取得による支出	△8	△1
ストックオプションの行使による収入	46	40
配当金の支払額	△428	△483
その他	△6	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△554	△1,774
現金及び現金同等物に係る換算差額	△47	△358
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	18	△4,527
現金及び現金同等物の期首残高	15,234	18,953
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	315
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,253	14,741

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	プラント・ エネルギー 事業	産業機械 事業	エレクトロ ニクス 事業	ファーマ 事業	航空事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	7,772	9,640	10,350	1,436	237	29,437	224	29,661	—	29,661
セグメント間の内部 売上高又は振替高	26	177	56	69	—	330	8	339	△339	—
計	7,799	9,817	10,407	1,506	237	29,768	232	30,001	△339	29,661
セグメント利益又は損失 (△)	△15	273	271	59	△48	540	△48	491	24	516

注 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械・器具の賃貸、保険代理業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額24百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、たな卸資産の調整額24百万円およびその他の調整額0百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	プラント・ エネルギー 事業	産業機械 事業	エレクトロ ニクス 事業	ファーマ 事業	航空事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	11,840	8,884	13,900	2,405	660	37,690	20	37,711	—	37,711
セグメント間の内部 売上高又は振替高	111	65	119	280	—	576	8	584	△584	—
計	11,952	8,949	14,019	2,685	660	38,267	28	38,296	△584	37,711
セグメント利益又は損失 (△)	28	115	596	128	36	905	△20	885	103	989

注1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械・器具の賃貸、保険代理業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額103百万円には、セグメント間取引消去66百万円、たな卸資産の調整額39百万円およびその他の調整額△1百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。